魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会

（第一回）　次　第

平成 29 年 7 月 5 日
市役所　4 階　第 1 委員会室
午　前　１０　時　か　ら

（委嘱状交付、市長あいさつ）

１．　開　　会

２．　委員とオブザーバーの紹介

３．　会長、副会長の選出について

４．　魚津駅・新魚津駅周辺整備計画について　（1～4ﾍﾟｰｼﾞ）
　　・事業計画、整備内容、市民からの意見

５．　協議事項

（１）駅周辺まちづくりの将来展望についての意見交換　（5,6ﾍﾟｰｼﾞ）

（２）今後の協議会スケジュール（案）について　（7ﾍﾟｰｼﾞ）

６．　閉　　会

魚津市告示第92号

魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会設置要綱を次のように定める。

平成29年5月31日

魚津市長　　村　椿　　晃

魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会設置要綱

（設置）

第１条　魚津駅・新魚津駅周辺地域のまちづくり計画（以下「計画」という。）を策定するため、魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

（所掌事務）

第２条　協議会の所掌事務は、計画策定に係る調査、検討及び調整その他計画の策定に必要な事項とする。

（組織）

第３条　協議会は、15人以内の委員をもって組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

（１）　学識経験を有する者

（２）　関係行政機関の職員

（３）　関係諸団体の役職員

（４）　関係地域の住民

（５）　前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

２　協議会に会長及び副会長を置く。

３　会長及び副会長は、委員の互選により選出する。

４　会長は、会務を総括する。

５　副会長は、会長を補佐し、会長に事故があったときは、その職務を代理する。

（任期）

第４条　委員の任期は、委嘱の日から計画の策定が完了するまでの期間とする。

（会議）

第５条　協議会の会議は、会長が招集する。

２　会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に協議会の会議への

出席を求め、その意見又は説明を聞くことができる。

（専門部会）

第６条　協議会は、専門的な調査及び検討を行うために必要があると認めるときは、協議会に専門部会を置くことができる。

（庶務）

第７条　協議会の庶務は、産業建設部都市計画課において処理する。

（細則）

第８条　この要綱に定めるもののほか、協議会の運営その他必要な事項は、市長が別に定める。

附　則

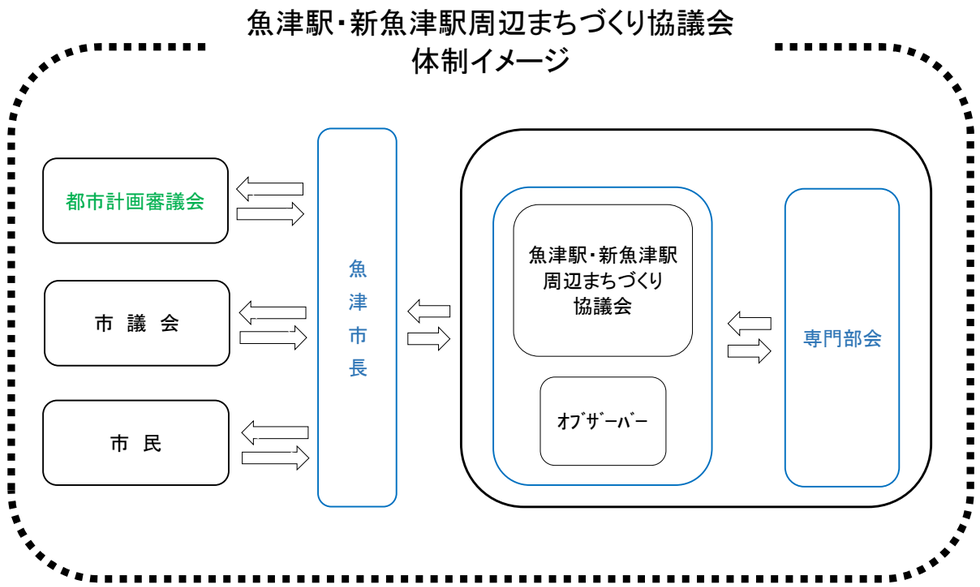
この要綱は、公表の日から施行する。

2. 委員とオブザーバーの紹介、協議会体制及び専門部会について

魚津駅・新魚津駅周辺まちづくり協議会

委員13名

	要綱区分	団体名・所属等	役職等	氏名
委員	学識経験者	富山大学	副学長	中川　大
委員	関係団体役員	魚津商工会議所	女性会副会長	河内　美穂
委員	関係団体役員	うおづ女性の会連絡会	会長	浦田　孝子
委員	関係団体役員	(社福)魚津市社会福祉協議会	事務局長	内海　三佐雄
委員	関係団体役員	魚津観光ボランティアじゃんとこい	会長	前澤　律子
委員	関係団体役員	荒井学園新川高等学校PTA	役員	東海　文香
委員	関係地域住民	道下地区振興協議会	会長	大﨑　勇
委員	関係団体役員	魚津タクシー協会	会長	佐々木　祐司
委員	関係団体役員	あいの風とやま鉄道株式会社	総務企画部長	夏野　光弘
委員	関係団体役員	富山地方鉄道株式会社	専務取締役企画部長	中田　邦彦
委員	関係行政職員	富山県観光・交通・地域振興局総合交通政策室	次長	長田　知
委員	関係行政職員	富山県土木部都市計画課	課長	上坂　展弘
委員	関係行政職員	魚津市	副市長	四十万　隆一
	オブザーバー	国土交通省(北陸信越運輸局鉄道部計画課)	課長	平山　一良
	オブザーバー	国土交通省(北陸地方整備局建政部都市・住宅整備課)	課長	窪田　悦郎
	事務局	魚津市産業建設部長、次長、商工観光課、都市計画課		



専門部会

メンバー7名

要綱区分	団体名・所属等	役職等
関係団体役員	魚津商工会議所	事務局長
関係団体役員	魚津タクシー協会	会長
関係団体役員	あいの風とやま鉄道株式会社	企画課長
関係団体役員	富山地方鉄道株式会社	交通政策課長
関係行政職員	富山県観光・交通・地域振興局総合交通政策室	主幹
関係行政職員	富山県土木部都市計画課	主幹
関係行政職員	富山県新川土木センター	工務第一課長
事務局	魚津市商工観光課、都市計画課	

4. 魚津駅・新魚津駅周辺整備計画について

1. 駅周辺の現状

・駅前広場（東側）と駅前広場（西側）は地下自由通路でつながっているが、移動距離が約150mと長い。
・鉄道利用者が両駅を乗換するには、この自由通路を移動する必要があり、新魚津駅にはEVがない。

2. 駅利用者アンケートの結果と必要な施設

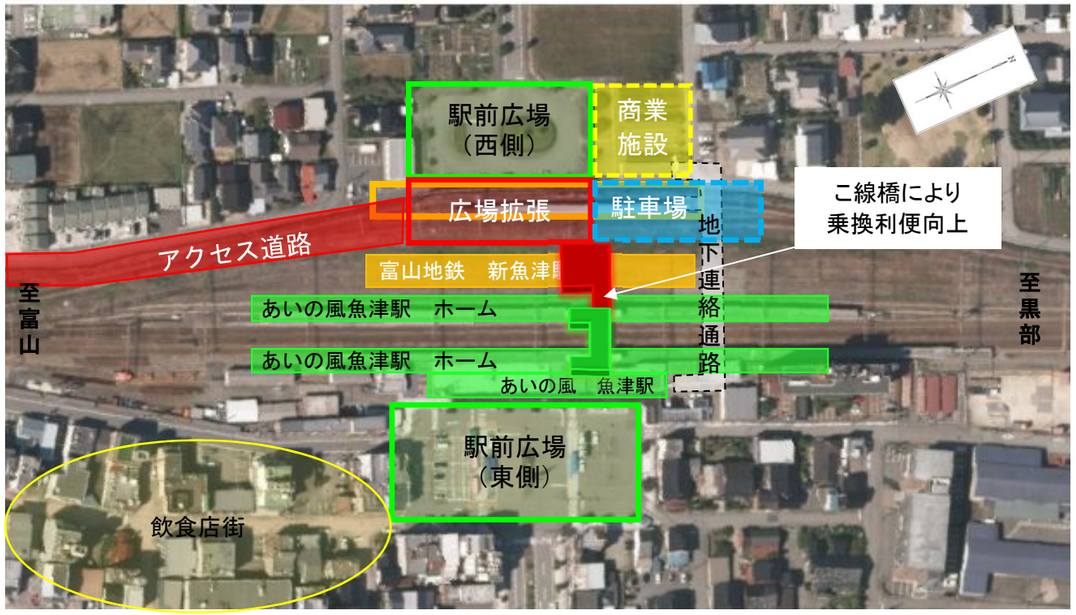
平成22年、23年実施

項　目		回答割合	駅周辺既存施設とニーズを検討した結果必要な施設
駅利用の問題点について	上下の移動が不便	約8割	
	移動距離が長い	約6割	
駅周辺にに求める機能	商業施設の充実	約4割	飲食店、ATM、コンビニ、薬局
	駐車・駐輪機能の充実	約4割	施設利用のための駐車場
	憩い・集いの空間機能の充実	約4割	観光・チケット案内所
	生活バス乗降機能の充実	約2割	バス運行ルートの増

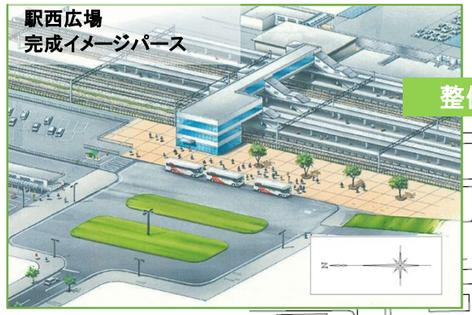
3. 海沿いの観光施設について

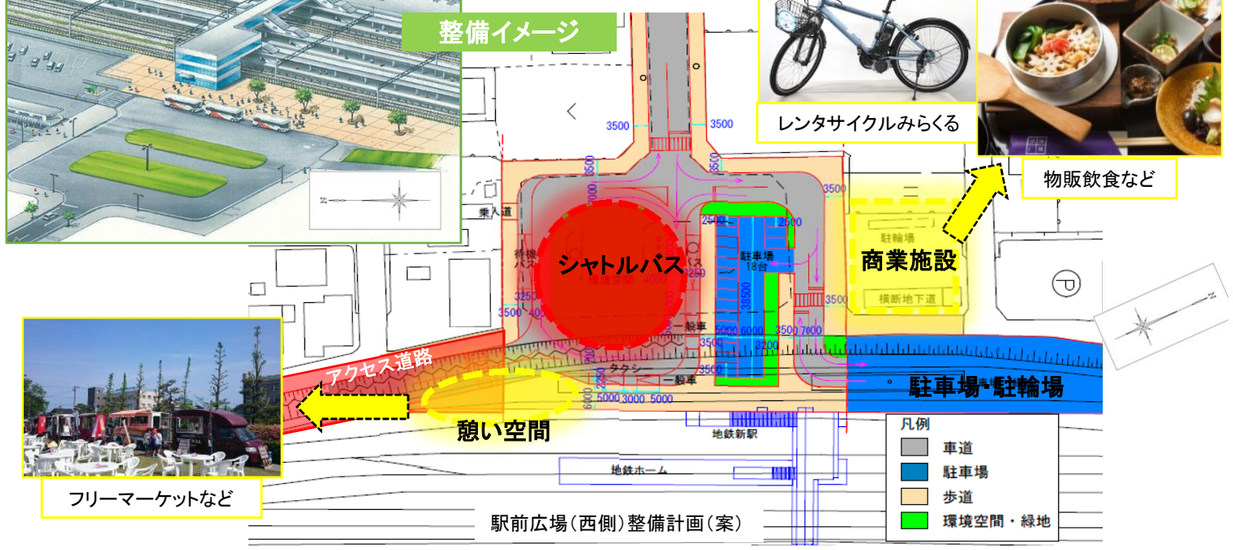
・駅西側には市内の観光施設（年間観光客数合計93万人）が集中しており、観光の拠点として期待している。

4. 駅周辺の整備計画（イメージ）



・鉄道利用者の乗換利便性向上のため、新魚津駅を魚津駅に近づけ、連絡通路で接続する。
・駅西広場を拡張し、アクセス道路を拡幅し、駅西駐車場を整備する。
・新魚津駅移設に伴いEV設置を行い、駅西広場も併せてバリアフリー化する。

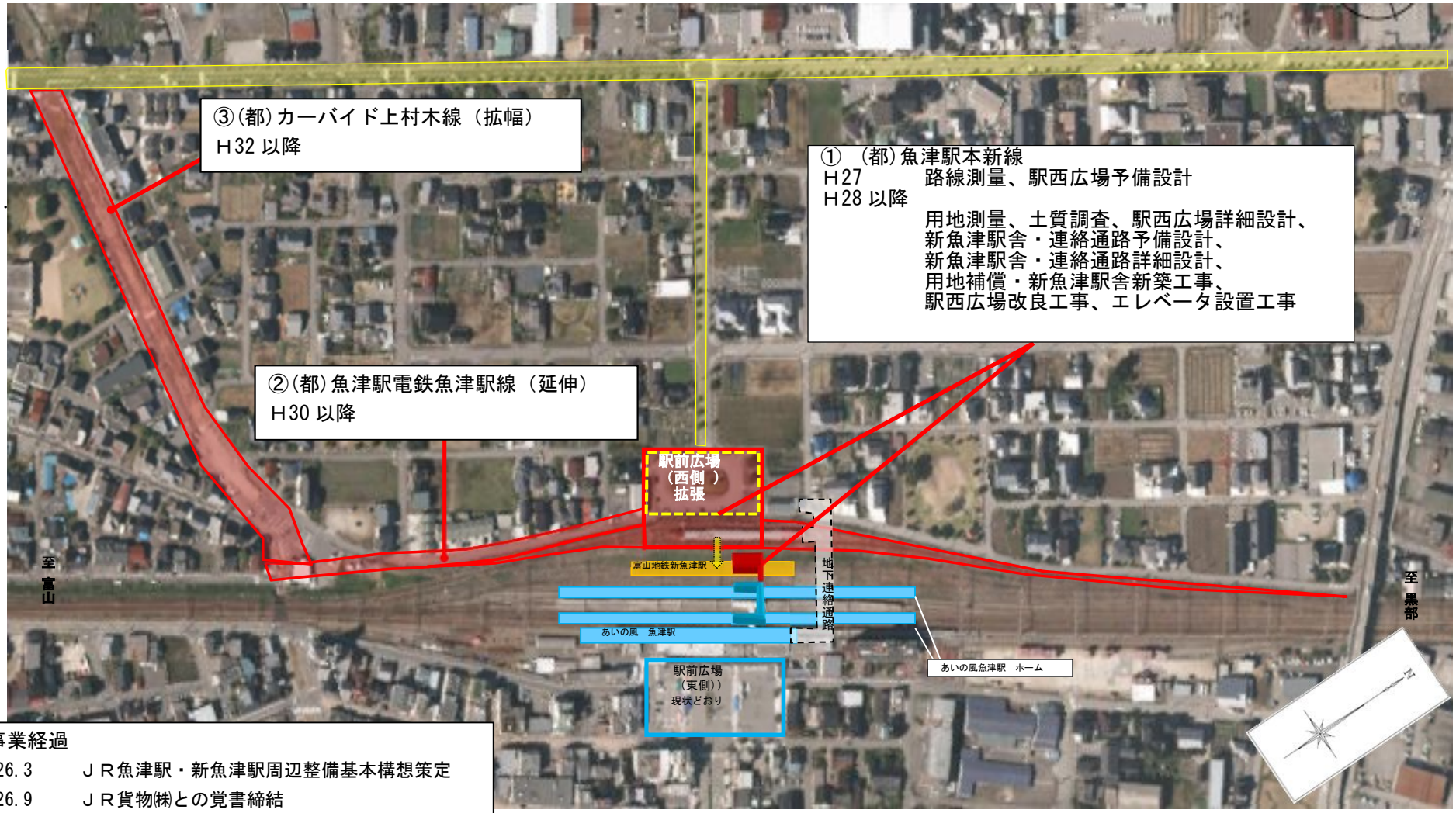




5. 整備により期待する効果

・東西の駅前広場と鉄道両社の動線が繋がり、全ての人が利用しやすい駅前を創出する。
・公共交通などのターミナル機能が充実し、海岸沿いの集客施設の利用者が増える。
・魚津の新しい駅前を観光拠点として、イベントなど各施策と併せて情報発信することで、賑わいを創出する。
・整備された駅への来訪者が増える事により、駅前周辺や観光施設までの沿道商業施設が活性化する。

４．魚津駅・新魚津駅周辺整備計画について



事業経過

H26.3	ＪＲ魚津駅・新魚津駅周辺整備基本構想策定
H26.9	ＪＲ貨物㈱との覚書締結
H27.9	H27 社会資本整備総合交付金交付決定
H28.11～	説明会・意見交換会を開催
H29.2	計画の見直し検討を公表

４．魚津駅・新魚津駅周辺整備計画について　（市民からの意見）

平成28年11月21日～平成29年1月16日　13回開催

⑥社会情勢について

人口減少社会、公共施設の再編、北陸新幹線開業後の状況など、現状を踏まえるべきでは

・高度成長期ならまだしも、人口が減少する中で整備効果に疑問がある。また、人口の増加は考えないのか。
・市庁舎など多くの老朽施設の改修など事業の優先順位についてどう考えるのか。
・ＪＲ時代の古い計画なので、新幹線駅との繋がりも見極めながら進めるべき。まずは新黒部駅までの利用者調査実施を。
・宇奈月温泉への鉄道ダイヤについて、帰りは良い時間帯が無く不便な現状なので、ダイヤ改正等のソフト整備も忘れないで欲しい。
・公共交通利用者は増加傾向にあり、バス・タクシー利用者も視野に入れながら公共交通の充実について総合的に考えて欲しい。
・観光客が日曜日の昼食に魚を食べたくても駅周辺飲食店街が休みの現状をまずは改善するべきではないか。

⑪両駅橋上化・自由通路・現地下道について

両駅橋上化＋複合施設化や両広場と駅舎を繋ぐ自由通路整備に期待、現地下道は暗くて不便

・両駅舎を橋上化、複合施設にして図書館併設等の検討を。
・駅舎に市庁舎を移転する事が賑わいを生む事に繋がるので、道路整備を後回しにしてでも、駅ビルに予算を集中させて施設をコンパクトに集約してはどうか。市役所機能は賃貸で十分。
・両広場を自由に通行出来ない整備では意味が無い。自由通路がこの計画に含まれていない理由は何か。
・現地下道は窓も無く暗いので、特に女性には利用しずらい。地上にもってこれないか。
・現地下道について、企業や美術系大学と協働で、視覚的に楽しく通行できるような工夫をしてみてはどうか。

①この事業計画について

全体計画が不明瞭な事、整備内容と費用対効果に疑問

・この計画は市長公約と整合するのか。
・１万人増の内訳はどのような人達か。
・乗換地として利用されている魚津駅・新魚津駅の乗換利便向上は必要である。
・鉄道駅舎を移設しても人が集まるとは思えない。市に必要な事業なのか。
・鉄道事業者の負担を市が肩代わりする必要性は。
・もっと大きな全体計画、グランドデザインに基づく事業なのか。
・事業完了後、街路樹の剪定等、維持管理費も予算立てしながら進めて欲しい。
・海岸部へ向かう観光客が迷子になっているので、案内看板の設置等にも配慮して欲しい。

②広場計画について

駅西広場拡張の必要性に疑問

・駅西広場は広いので拡張しなくても問題ない。
・鉄道沿いの水路は流れが悪く維持管理が大変なので、整備時に改修して欲しい。
・駅西広場側のバス停留所等は雨風凌げるよう屋根付きの施設として欲しい。
・広場拡張よりも雨ざらしの鉄道プラットホーム改善が先決ではないか。

③都市計画道路について

２路線の整備よりも、ガード下（カーバイド上村木線）の将来形について関心が高い

・北鬼江こ線橋から駅西広場までの鉄道残地を道路整備する等の利活用も考えて欲しい。
・平成３２年度までに着手する整備スケジュールには無理がある。

④駅舎計画について

地鉄駅舎の移設だけではなく橋上複合駅舎や自由通路の整備に期待が高い

・年寄りが利用し易い駅整備をして欲しい。
・見晴らし良く景観が楽しめる新駅舎にして欲しい。
・両駅を跨線橋で繋ぎ、中途半端に両広場への出入り制限が加わると迷う人が出てくる。

⑤事業費について

２１億円の事業費に見合う事業効果に疑問

・２１億円は市民にとって大きな負担である。
・市の財政負担が大きい。恩恵のある県にも負担を求めてみては。
・実現して欲しいが、予算の縮減を。
・２１億円は魚津市の年間予算の10%以上であり市民ニーズの低い事業を進める事に疑問がある。

⑧駅西広場横の商業施設について

内容検討と誘致後のアクセス性など

・駅西広場横の商業施設の整備手法・運営主体の明確化と、整備時には地下通路接続を可能にして欲しい。
・駅西広場横の商業施設は、駅の上に計画する等、もう一工夫して注目を浴びるようなものにしないと失敗するのではないか。

⑨駅東広場（駅前広場）について

環境改善を期待

・駅前広場は、バス・タクシーと一般車の動線が重なっており危険なので再整備して欲しい。
・駅前広場に隣接する建物のテナントに空きがあり、暗く感じるので配慮できないか。
・他施設の事例を参考に、観光案内所内容の拡充を図ってみては。
・新幹線開業で大打撃を受けた飲食店街のために駅前広場を拡張してみてはどうか。

⑩都市計画道路について

カーバイド上村木線のガード下改良について関心が高い

・緊急車両も通行できないガード下の改良は地元地区の昔からの要望なので実現して欲しい。
・ガード下の改良が先決であり、駅西広場を広げバスターミナルを作るだけでは効果が薄いのではないか。
・ガード下は１車線の片側通行で、降雨時の通行止め等、非常に不便なので、駅整備と併せて早急な解決を望む。
・ガード下は、今のままだと観光バスも通れないので、通れるように改善する事が先決ではないか。
・ガード下の検討結果について、地区への説明時期はいつになるのか。
・カーバイド上村木線が改良されると、交通量が増え騒音が増大し危険にもなるので、現状維持を望む。

⑫事業の推進について

夢のある事業の推進、事業の見直し

・夢のある計画なので、若者達が住みたいと思う街づくり、市民が元気付く夢のある計画として欲しい。
・鉄道駅は市の顔（玄関口）であり、イメージＵＰに繋がるような整備をして欲しい。
・駅を中心としたコンパクトシティを作り上げるためにも、事業の早期着手を望む。
・様々なメディアでも取り上げられているが、この計画をやめる予定なのか。
・経済界では、事業効果の無いこの計画について、良い計画であるとの意見は無い。
・この際、駅周辺整備事業よりも、駅前広場のイメージアップに枯れ木を植え替える等、他の事業に予算を使う事も考えたらどうか。

⑦将来展望やその他事項について

魚津のまちづくりに関する構想等における駅整備事業の位置づけ等

・駅周辺整備単独では事業に反対の市民も多いと思われるので、全体計画における駅整備の位置づけを示して欲しい。
・魚津市全体で考えた整備を望む。総合的な街づくりを見据え今後の展望はどうなるのか。
・周辺の観光アクセスについて触れているが、現在は直接行けるルートが無い。観光を主として考えるなら、駅西広場から海岸沿いに繋がる道路を整備するべきでは。
・人を集めるためには、新幹線開業により不便となった大阪や新潟へのサンダーバード、名古屋へのしらさぎ等の復活が必要ではないか。
・市庁舎・ホテル・運送会社・鉄道事業者等、全部巻き込んで今後計画検討してはどうか。
・利便性よりも話題性をまず考えてみてはどうか。人を引きつける魅力があれば、不便でも賑わうのではないか。

その他、全体計画策定のための協議会設置、計画アイデア等

・プロジェクトチームや協議会等を立ち上げ、現状の問題点を分析し、施設整備だけではなくインバウンド等にも踏み込みながら計画を練っていけば良いと思う。
・事業の説明会を随時開催して欲しい。
・意見を計画に反映するのか。意見交換をしたという実績作りをしているだけなのではないか。
・交流人口を増やすには各地区が連携して街づくりを行う必要がある事と、賑わい創出に繋がる魅力ある企業誘致も必要ではないか。
・線路内の空きスペースに魚津の花などの群生地を設け、鉄道を見下ろしながら飲食を楽しめるような施設を計画してみては。
・（都）カーバイド上村木線沿線の土地を利用して、駅から海岸沿いの観光施設を周遊できる乗り物を作り、賑わいを創出してみてはどうか。
・例えば、小学校統合により空いた耐震済の校舎を庁舎として利活用する等のアイデアを集めて欲しい。
・駅東側にある駐輪場が古くて汚いので、改修して綺麗に利用して貰える環境作りをして欲しい。
・８号バイパスから海まで通り抜ける道路を計画して欲しい。

※ ▭ は、主に個別の計画内容に関する意見を整理したもの
▭ は、主に計画の全体的な事に関する意見を整理したもの

4. 魚津駅・新魚津駅周辺整備計画について

● 主に、この計画についての課題（茶色枠内）

① **この事業計画について** 駅施設整備による利便性向上については一定の理解を得られるが、費用に見合う効果が期待できるような全体構想や全体計画が整えられていない事。

② **広場計画について** シャトルバス乗り場や短時間駐車場、商業施設の誘致等を計画しているが、充分に広い駅西広場を更に拡張する必要性の整理。

③ **都市計画道路について** 駅西広場の拡張や、広場に接続する鉄道沿いの道路整備よりも先に、鉄道アンダーパス箇所のボトルネック解消に関心が高く、（都）カーバイド上村木線の整備内容との整合や、事業の優先順位を示す事。

④ **駅舎計画について** 単純に両駅舎を跨線橋で繋ぐだけでは、乗換移動距離が短くなる以外は現状とあまり変わらないので、見晴らし良く景観が楽しめたり、複合施設化等により集客力が向上した駅舎計画の立案。

⑤ **事業費について** 駅舎整備と駅西広場整備に21億円掛ける事は、市民にとっても大きな負担であり、事業費の縮減と事業の優先順位を整理する事。

● 主に、この計画には含まれていない事についての課題（青色枠内）

⑥ **社会情勢について** 北陸新幹線開業以来、魚津駅が生活駅として利用され、公共施設の再編など、人口減少社会における持続可能なまちづくりへの転換が求められる中、事業の必要性や事業効果等についての整理。

⑦ **将来展望などについて** 魚津のまちづくり構想における駅整備事業の位置付けを明確にする事や、新幹線開業前後の状況と今後の展望、利便性が必要なのか話題性が必要なのか、等について総合的な検討に基づく計画策定。

⑧ **駅西広場横の商業施設について** 計画倒れとならないように、場所や商品内容を良く検討し、注目を集める施設を誘致する事。

⑨ **駅東広場（駅前広場）について** 駅前広場側は朝夕の混雑が酷く、周辺施設の賑わいも不足し始め、魚津のもう一つの顔とも言える飲食店街の活性化も視野に入れた再整備の検討。

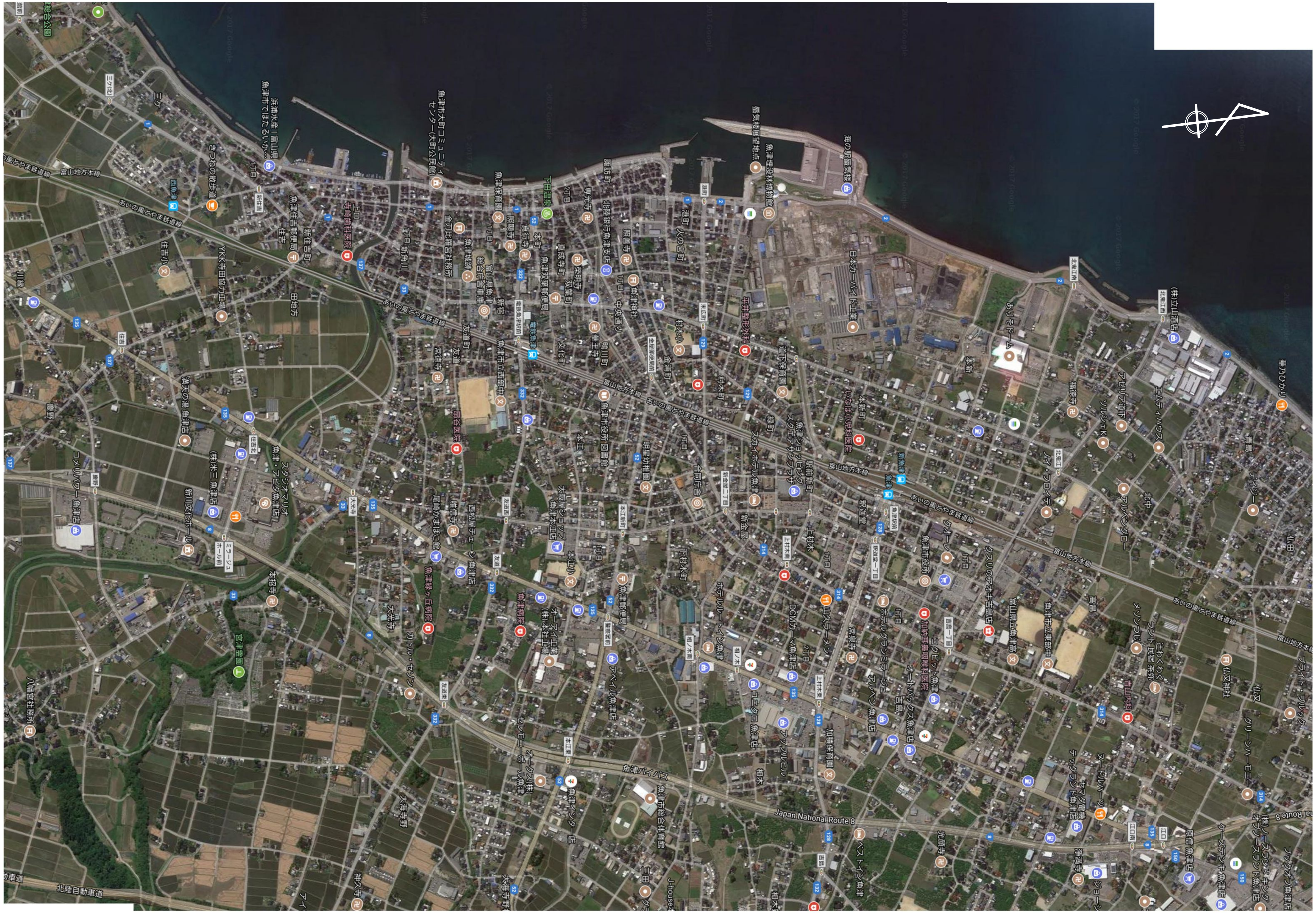
⑩ **都市計画道路について** ③参照

⑪ **両駅橋上化・自由通路・現地下道について** 公共施設等を併設した駅整備と、暗い地下道に替わる両駅前広場と駅舎を接続する自由通路整備の検討。

⑫ **事業の推進について** 市の玄関口として、また夢のある計画として、これからの魚津が盛り上がる整備内容として推進出来るか。

5. 協議事項 （1）駅周辺まちづくりの将来展望についての意見交換

魚津の市街地（航空写真）



5. 協議事項 （1）駅周辺まちづくりの将来展望についての意見交換

魚津市都市マスタープラン　土地利用方針図
魚津市民バス　運行路線図　より抜粋

５．協議事項　（２）今後の協議会スケジュール（案）について

本協議会では　賑わいと活力あるまちの将来像と、新しい魚津駅・新魚津駅周辺の姿を描くための協議を行う。

平成二十九年度

- 現在のまちの姿を知る
- 将来のまちの姿を描く

平成三十年度

- 鉄道駅が担うべき役割や機能を整理する
- 駅周辺整備の青写真を描く

基本構想とする

ここまで本協議会の作業範囲

平成三十一年度以降

基本計画（政策、政策体系、手段等を示した計画）

実施計画（具体的な事業工程や経費などの概要を示した計画）

整備計画（事業主体別、整備内容別に整理した計画）

事業の実施